

平成19年度虎姫町一般会計収支決算（見込）書抄本

収入の部

款	項	目	金額（円）	内訳 (節内訳を記載すること)
県支出金	県補助金	教育費 県補助金	355,000	社会教育費補助金
町税等			355,000	
計			710,000	

支出の部

款	項	目	金額（円）	内訳 (節内訳を記載すること)
教育費	社会教育費	██████████	710,000	報償費 259,500 消耗品費 143,601 印刷製本費 45,339 役務費 30,560 使用料及び賃借料 231,000
計			710,000	

上記のとおり相違ないことを証明します。

平成20年 3月31日

虎姫町長

山内 健



事業実施計算書

市町村名 虎姫町

区分	費目	金額	積算の基礎
補助対象経費	報償費	259,500円	[ふれあい広場] 講師謝礼 75,000円 [親子研修会] 講師謝礼 154,500円 [子育て講習会] 講師謝礼 30,000円
	旅費	0	
	消耗品費	143,601	[ふれあい広場] クラフト等見本用材料費 35,636円 デコカッター、スチロール代 6,231円 フォトプリント紙代 12,125円 インク(黒、カラー)代 14,450円 記録用CD-R、色上質紙代 12,600円 ボンド、マジックペン代 10,786円 方眼模造紙、セロテープ 8,276円 はがき、保存袋、ナイロン代 6,712円 [親子研修会] 用紙代 6,538円 [子育て講習会] 用紙代 4,247円 インク代 7,392円 [小学生、中学生親子のつどい] 用紙・フォトプリント紙代 11,765円 インク代 6,843円
	印刷製本費	45,339	[ふれあい広場] ゼロックスプリント料 28,959円 [親子研修会] ゼロックスプリント料 3,360円 [子育て講習会] ゼロックスプリント料 6,640円 [小学生、中学生親子のつどい] ゼロックスプリント料 6,380円
	通信運搬費	0	
	保険料	0	
	役務費	30,560	[ふれあい広場] 啓発用看板制作費 23,000円 広報費 7,560円
	使用料及び賃借料	231,000	[小学生、中学生親子のつどい] 映画賃借料 231,000円
	合計 (A)	710,000	710,000円
			【補助金額 (A) × 1/2】

注)「積算の基礎」欄は可能な限り会議・説明会等の事業区分毎に単価や員数等を用いた計算式を記載すること。なお、実施施設数が複数の場合は、実施施設毎に作成し、費目毎の合計額を本様式に計上した総括表を作成すること。委託料については事業の経費内訳を詳細に記入すること。

事業の内容

名 称	小学生 親子の集い	中学生 親子の集い	
対 象	管内の子どもとその保護者	管内の子どもとその保護者	
内 容 (テーマ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人権週間について知る。</li> <li>・「もも子かえるの歌がきこえるよ」「やがて…春」を鑑賞する。</li> <li>・感じたこと、考えたことをまとめ、意見交流する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人権週間について知る。</li> <li>・「ベルナのしっぽ」を鑑賞する。</li> <li>・感じたこと、考えたことをまとめ、意見交流する。</li> </ul>	
参加者 (うち児童 生徒数)	350 人 (312) 人	226 人 (166) 人	
実施場所	■■■■■■■■■■	■■■■■■■■■■	
開催期間	平成 19年 11月 27日 ～ 平成 19年 11月 27日	平成 19年 11月 27日 ～ 平成 19年 11月 27日	平成 年 月 日 ～ 平成 年 月 日
開催時間	3 時間	3 時間	時間
事業実施 後に期待 すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人権週間の意義と取り組みについて理解を深める。</li> <li>・人権に関する映画を鑑賞し、人権の大切さや人間の尊厳などに対する豊かな感性を育む。</li> <li>・親子で人権について考える機会を提供することによって、相互の人権意識を高める。また、保護者が相互に意見交換する中で、保護者の教育力の向上と保護者同士のつながりができることを期待する。</li> </ul>		

※ 1 市町村において複数の施設で実施する場合は施設ごとに作成のこと

※ 事業実施計算書は別紙共通様式により提出すること



課題解決に向けた、より効果的な取り組みが必要であると考えます。

### ③今後の方針等

(上記①および②をふまえ、事業実施後の課題や改善点など)

こうした取り組みにより一定の成果は見られたが、高校の中途退学等の課題が多く残っている。

これらは、就労を踏まえた子どもたちの進路を保障する上で大きな課題となり、課題解決に向けた、より効果的な取り組みが必要である。

当事業に加え、子ども輝き人権教育推進事業を行っているが、課題解決のために、この事業の果たす役割は、今まで以上に大切であると考えます。19年度事業を展開する中で、明らかになったことは、より多くの子ども・保護者・住民の参加を促す働きかけをするとともに、人権や子育てについてのより効果的な啓発・研修の場となるように、内容や方法等を充実させていく必要があるということである。具体的には、正しい職業感や勤労意識を身につけさせるために、望ましい学習習慣や生活習慣を充実させることの大切さを明確にしなければならないと同時に、保護者にとって家庭教育の重要性を認識させる場の提供を考えなければならない。今後、家庭の教育力の向上を図り、保護者が自らの役割を果たし、すべての子どもたちの確かな進路を切りひらいていけるよう取り組みを進めていきたいと考えます。

平成19年度子どもを支える人権のまちづくり促進事業実績書

施設名 [REDACTED]  
管内区域 [REDACTED]

①困難を抱える児童生徒が多く特別な配慮を必要とする管内の現状

(保護者や児童生徒の生活面・学習面等からみた管内の状況)

[REDACTED]

②取り組みの成果

(現行実施事業の概要及び効果性等から見た課題)

平成16年度からは「子どもを支える人権のまちづくり促進事業」も展開していた。そのことにより、住民・保護者が学び合い交流を深めるとともに、子ども達のボランティア精神が芽生え、人権意識の高揚が見られた。

住民の人権意識の向上と交流をめざして実施した「ふれあい広場」は、親子が体験活動やゲームを楽しんだり、町内教職員・中学生のボランティアが活躍したりするなど充実した事業となり、多数の参加者でにぎわった。

「子育て講習会」では、保護者が家庭において子どもの自尊感情やコミュニケーション能力を高めるための手立てについて学ぶことができた。「親子研修会」は、現代社会における青少年の現状や社会に出て必要な力についての講演を聴く場を設定することにより、生徒の意識の変容や保護者の教育力の向上に寄与した。

「小学校・中学校親子のつどい」は、児童・生徒や保護者の人権意識の向上をねらいとして映画会を実施した。映画鑑賞が意義のあるものになるように、小学校・中学校の人権教育主任と [REDACTED] が連携をし、各校で試写会を行うなどして選定を慎重に行った。また、視聴後は、子どもと保護者が感想や意見を交流することにより、互いの人権意識の向上につながった。

こうした取り組みにより、一定の成果は見られたが、 [REDACTED]、今後もこれらの課

平成19年度子どもを支える人権のまちづくり促進事業実績書(総括表)

市町村名 虎姫町

(単位:円)

事業区分	事業(集会等)の名称	事業費の内訳										計	
		報償費	旅費	消耗品費	印刷製本費	通信運搬費	保険料	役務費	使用料及び賃借料				
ウ	ふれあい広場	75,000		106,816	28,959			30,560					241,335
ウ	親子研修会	154,500		6,538	3,360								164,398
エ	子育て講習会			11,639	6,640						231,000		249,279
ウ	小学生、中学生 親子のつどい	30,000		18,608	6,380								54,988
	合計	259,500		143,601	45,339			30,560			231,000		710,000